

交通バリアフリー教室の開催状況（平成28年度）

（１）趣旨・目的

高齢者や障がい者などの自立と社会参加の要請へ適切に対応し、高齢者や障がい者などが公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、国をはじめとして社会全体で施設整備（ハード施策）のみならず手助けをしやすい環境づくり（ソフト施策）を進めることも必要です。

このソフト施策のひとつとして「交通バリアフリー教室」を開催し、国民一人ひとりが高齢者や障がい者などに対する介助や講話等の体験をし、交通バリアフリーについて理解を深めるとともに、福祉ボランティアに関する意識を醸成して、誰もが高齢者や障がい者などに自然に快く手助けできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

（２）交通バリアフリー教室の実施状況

中部運輸局管内における交通バリアフリー教室の開催実績は、平成14年度から平成28年度までの合計で229回、約18,214人の方にご参加頂き、心のバリアフリーの普及促進に向けた啓発活動を行いました。

年 度	開催回数	参 加 人 数	年 度	開催回数	参 加 人 数
平成14年度	2回	62人	平成22年度	29回	1,976人
平成15年度	3回	101人	平成23年度	29回	3,272人
平成16年度	4回	226人	平成24年度	21回	1,474人
平成17年度	8回	291人	平成25年度	19回	1,414人
平成18年度	19回	1,139人	平成26年度	14回	1,707人
平成19年度	20回	1,201人	平成27年度	11回	987人
平成20年度	23回	1,892人	平成28年度	10回	1,270人
平成21年度	18回	1,252人			

（３）実施概要

中部運輸局管内において平成28年度に実施したバリアフリー教室は、管内で合計10回開催し、合計約1,270名超の方々に参加いただきました。

平成28年度に開催した交通バリアフリー教室の一部を紹介します。

中部運輸局 バリアフリー教室

開催日程：平成28年9月27日（火）

開催場所：岐阜公園

主催：中部運輸局（交通政策部）

協力：岐阜市社会福祉協議会
岐阜乗合自動車株式会社

参加者：観光ボランティア及び岐阜市歴史博物館職員 15名

観光地でのバリアフリー教室として、視覚障がい者の方の講話、車いす及び視覚障がい疑似・介助体験を通して、岐阜市を案内する方々に障がい者の方への理解を深めていただくとともに、接遇・介助の基本を習得していただき、「心のバリアフリー」の理解を深めました。



視覚障がい者の方の講話



高低差のあるスロープを移動



ノンステップバスの乗降体験



白杖やアイマスクを使用した体験

(参加者の意見・感想の一部)

- 車いす、バス体験、アイマスク体験など貴重な体験ができ、今後のボランティア活動に役立つことが多々あった。
- 車いすを操作するにもいろいろ技術があって勉強になった。
- 心のバリアフリーについて興味をもった。
- バリアフリーが視力の弱い方には困ることがあると気付いた。

(歩道に段差があることで歩行区分がありわかりやすいことは印象的であった)

- 高齢者はだれでも障がい者になり得ると感じた。

開催日程：平成29年3月22日(水)

開催場所：矢作建設工業株式会社鉄道技術研修センター
名鉄常滑線大江駅

主催：中部運輸局(鉄道部・交通政策部)

共催：中部鉄道協会

協力：中部盲導犬協会

参加者：中部管内鉄軌道事業者
駅係員、マニュアル作成担当者など約50名

視覚障がい者の方がより安全に安心して駅を利用できるように、中部盲導犬協会の協力を得て、講演や実演等により、鉄軌道事業者の駅務員が盲導犬や視覚障害について正しく理解し、適切な誘導案内など接遇向上を目的に「駅ホームにおける安全性向上のための研修会」として開催しました。

研修会の中では、視覚障がい者の方や中部盲導犬協会の担当者から具体的な誘導方法やその際の注意事項、事前の質問事項について講義・回答を受けた後、参加者全員が誘導を体験するなど実技・実演に多くの時間をかけたものとなりました。また、実技・実演後にも改めて質問時間を設け、再確認を行いました。



研修会の様子

岐阜運輸支局 「のりものフェスタ in たかやま」

開催日程：平成28年9月25日（日）
開催場所：高山市役所駐車場
主 催：高山市公共交通活性化協議会
参加団体：岐阜運輸支局、高山警察署、高山国道事務所、高山消防署、岐阜県タクシー協会飛騨支部、濃飛乗合自動車、岐阜県自動車会議所、岐阜県バス協会、自動車事故対策機構岐阜支所など
参 加 者：バリアフリー乗車体験コーナーにて264名

高山市公共交通会議では、公共交通の役割や必要性を楽しく学ぶことを目的として平成24年度からのりものフェスタを開催しています。

岐阜運輸支局では協議会の委員として主旨に賛同し、その一つとしてリフト付きタクシーを利用した「バリアフリー乗車体験」を実施し、高齢者や障がい者の方々への「心のバリアフリー」について理解、周知を行いました。



「バリアフリー乗車体験」の様子

福井運輸支局

開催日程：平成28年7月25日（月）
開催場所：福井市地域交流プラザ AOSSA
えちぜん鉄道（福井駅、車両総合検査庫）
主催：福井運輸支局
共催：福井市社会福祉協議会、えちぜん鉄道株式会社
参加者：小学生～中学生程度の学生とその保護者 27名

この教室は「夏休み親子ボランティア体験講座」としてえちぜん鉄道株式会社と福井市社会福祉協議会の協力のもと開催しました。

車いす使用者の方からは普段の生活や公共交通機関を利用する際に不便なことやどのような配慮必要かといったお話をいただきました。また、社会福祉協議会、えちぜん鉄道株式会社、中部運輸局などの説明を通して公共交通機関のバリアフリーの理解を深めました。講話や説明の後にはえちぜん鉄道福井駅の構内や車両の見学とともに車いす疑似・介助体験を通してバリアフリーについて理解を深めました。



車いす使用者の方の講話



車いすでの車両の乗り込み



次世代型低床車両「キーボ」を見学



えちぜん鉄道福井駅で設備等の説明

静岡運輸支局

開催日程：平成28年12月8日（月）
開催場所：三島市向山小学校
主催：静岡運輸支局
共催：三島市、三島市社会福祉協議会
協力：三島市身体障害者福祉会
株式会社東海バスオレンジシャトル
静岡トヨペット株式会社
参加者：小学生 110名

この教室では、視覚障がい者の方の講話、視覚障がい者、車いす疑似・介助体験・福祉車両体験・バス乗降体験を実施しました。子供達は初めて経験した事ばかりで、驚いたり対応に困ったりしている様子が見られました。

視覚障がい者の方がどのように情報を得ているか、街中の点字ブロック上での会話、自転車の駐輪、看板等の設置など、どのようなことに困っているかなどのお話がありました。また、バスや電車で座りたそうにしている視覚障害者の方を見たら、「ここ空いてます」と声をかけてほしい。また、盲導犬がいても、視覚障がい者自身が道を知っていなければ迷ってしまう。街中で困っている視覚障害者を見かけたら助けてあげて欲しいとのこと。他にも視覚障がい者の方への声かけの方法や盲導犬を見た際の注意点などを学びました。

子供達からは「障害のある方の苦勞が少し分かった」、「こんなに大変とは思わなかった」などの声が聞かれました。また「これからも困っている方がいたら声をかけてあげたい」などの感想が多くありました。



視覚障がい者の方の講話



リフト付きバスの乗車体験



福祉車両の体験